

2017年キーパー技術コンテスト全日本チャンピオン

安藤祐子選手が伝える、155点獲得方法



2017年キーパー技術コンテスト
全日本チャンピオン
(株)三ツ輪商会 Dr.Drive南郷通店
安藤祐子選手

今年のキーパー技術コンテストの予選通過ラインは、「155点」とかなりハードルが上がりました。しかし、今年の技術コンテストは、開催までまだ2ヶ月ほどあるので、今からでもまだまだ上手くなることができます！ならば「練習をして上手くなった選手に、155点を取る方法を聞いてみよう！」と、女性初の全日本チャンピオンである安藤祐子選手に直接お聞きしました。

POINT 1

他の人の施工(動画も含めて)を“見漁る”

まずは、そもそも何が上手い施工なのかを自分がイメージできていなかったため、他の人の施工をとにかく見漁って、自分の中で上手いと思うイメージを固めていきました。刺激になったのは一緒に練習をしてくれた店長の施工でした。ピシッと直線が引かれ、四隅も直角に角が取れていて上手いと思い、すぐに真似してみました。

動画も勉強になるのでチャンピオンビデオもおすすめです。見漁ってください！



再生回数130万回！ /
安藤祐子選手の
チャンピオンビデオはこちら！



POINT 2

自分の施工を撮影して見比べ、 上手いイメージと違う自分を“自覚する”

しかし真似をしてすぐにできるにはなりません。自分ではイメージ通りにできていると思っても、自分の施工を動画に撮って見ると、イメージした施工と全然違っていただけに気づかされました。

POINT 3

繰り返し上手い施工のイメージに “近づけ(真似)ていく”

イメージとして作り上げた施工や体勢が、最初はキツイと感じることも多くあり、筋肉痛にもなりましたが、繰り返し続けていくことで体が慣れ、負担と思わなくなりました。

POINT 4

現場での施工も “マニュアル通りかつ時間への意識”

現場ではスピードが求められるため、つい施工の正確さを乱してしまいがち。誰が見ても安心して、信頼してもらえるマニュアル通りの動作で確実な品質を作り、かつ時間を意識することで無駄が省けて早く施工する方法が身に付きます。



POINT 5

普段の洗車も“同じ”

コーティングは毎日入るものではないので、なかなかできないという方は、洗車で実践すると良いです。「ラ・モップで洗う」、「タオルで拭き上げる」などをボディの形状を感じ取りながら、コーティング施工用のスポンジと同じ感覚で洗車作業をします。この車ならどこをどのように施工していくかをイメージしたり、プレスラインの位置やフェンダーの形状等を識別しながら洗車をします。

POINT 6

素直な気持ちで“吸収する”

練習時間は勤務中の空いた時間を利用させてもらいました。「コンテスト向けに」と自家用車や社員の車で半面ずつ練習をしましたが、それだけでは結果につながりませんでした。やはり、動画を撮ったり、誰かに見てもらったり、とにかく素直な気持ちで参考になることを吸収し、とりあえず1回やってみます。

POINT 7

道具の機能を最大限に“使いこなす”

移動式ワゴンへの道具の配置は自分の使いやすいポジションを決めます。スポンジを置く位置や硬絞りダイヤクロスと乾拭きダイヤクロスの位置まで固定です。もっと言うとクロスは向きまで固定します。



POINT 8

コンテスト当日は“戦うぞ!”

ちなみに私は…もう“戦うぞ!”っていう気持ちで挑みます。気分上がる音楽を聴いて気持ちを高ぶらせたり、お腹のコンディションを乱さないよう、食事を食べないか軽食で済ませたりもしました。



安藤選手からひとこと!

初めて技術コンテスト予選会に出場した時の施工は全然ダメダメで、ギリギリの150点の予選通過と、自分では納得できずに悔しくて泣いてしまいました。それから絶対に上手くなろうと猛練習をしました。その時に実践したことをポイントで上げています。ぜひ参考にしてください!

